

「東アジアの海外交流」 交流と変化



埼玉大学 教養学部



埼玉県立 歴史と民俗の博物館

共同企画

ミュージアム・カレッジ
2016

海外との交流は、日本列島の各地域の社会に、大きな変化をもたらしてきました。そのなかには、技術革新を含むプラスの側面もあれば、抗争の激化などのマイナスの側面もありました。私たちの住む埼玉県においても同様で、海外からの様々な影響が歴史と文化にみられます。この公開講座では、わが国および東アジアにおける海外交流と社会の関係について、様々な時代の研究者の視点から、幅広くとらえてみたいと思います。

開催日

第1回

12月2日(金)
「海外交流と日本の基層文化形成」

中村 大 介 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科・准教授)

第2回

12月9日(金)
「新羅琴が伝える古代朝鮮半島の興亡」

加藤かな子 (埼玉県立歴史と民俗の博物館・学芸主幹)

第3回

12月16日(金)
「昭和二年日米人形交流から満州国への人形大使まで」

針 谷 浩 一 (埼玉県立歴史と民俗の博物館・専門員兼学芸員)

第4回

12月23日(金・祝)
「日本人が見た中国・中国人がみた日本」

小野寺史郎 (埼玉大学大学院人文社会科学研究科・准教授)

時間は各回とも 13:30 ~ 15:00

受講料

無料 (展示観覧については別途観覧料がかかります)

申込

事前申込は不要です。当日ご自由に聴講いただけます。

定員

150名 (当日先着順)

問い合わせ先

埼玉大学大学院人文社会科学研究科支援室教養学部係 TEL 048-858-3044

会場

埼玉県立 歴史と民俗の博物館

〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-219 TEL 048-645-8171

東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅下車 徒歩5分



※駐車場の駐車台数に限りがございますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

主催：埼玉大学教養学部・埼玉県立歴史と民俗の博物館